

第6学年 体育科学学習指導案

1 単元名 「水泳」 (9時間計画)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

水泳は、水中で水の浮力を感じながら自分の体を操作して、前に進むことを目的として、泳げる距離やタイムなど、自分の記録やいろいろな泳法に挑戦したり、人と競争したりすることが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性

A. 運動の特性にふれる楽しさ体験の状況

本学年の子どもは、スイミングクラブ経験者が74名と多い。事前アンケートの結果によると、102名の子どもが「水泳が好き」と答えている。その理由として「水の冷たさが気持ちいい」、「泳ぐのが気持ちいい」などを挙げている。反対に「嫌い」と答えた子ども10名は「泳げないから」、「寒いから」などの理由を挙げている。

子どもの水泳学習に対する思いや願いは、泳げる距離を伸ばすこと、タイムを短縮すること、きれいなフォームを身に付けること、新たな泳法に挑戦すること、など様々である。

B. 技術の習得状況

子どもの泳力を見てみると、25m以上泳げるのはクロールで62名、平泳ぎで41名だが、12.5m未満の子どもがクロールでは11名、平泳ぎでは31名いる。クロールは5m未満の子どもが少ないが、平泳ぎでは特に0～5mという子どもが21名おり、技能の差が大きい。

C. 学び方に関する学習経験の状況

○ 学習の進め方

これまでの体育学習では、目標を達成するための活動計画を立て、課題に向けての練習方法を工夫する経験をしている。また、技の習得やチームワークが高まる喜びも感じている。バスケットボールやサッカーの学習では、子どもの企画・運営で学年リーグを開催した。

○ めあて

めあてをもち学習に臨み、学習ノートで振り返りを行う体育学習は経験してきている。しかし、めあて達成のための課題を立てることはできるようになってきているが、練習方法が課題解決に結びつかない場合があるため、学習前に学習ノートを見て、支援していくことも必要と考えられる。

○ ポイントカードの活用

課題解決をしていくために、ポイントカードを活用する経験をしてきている。本単元でも、自分の課題を見つけたり、練習方法を工夫したりしていく中で、ポイントカードの活用を支援していく。

○ 友達とのかかわり

今までの学習経験から、めあてを達成するために友達と協力し合ったり、教え合ったりすることが大切と感じている。事前のアンケートから「友達と楽しみたい」「友達と教え合いをしたい」という思いをもっている子どもが多い。

3 学習を進めるにあたって

本単元の指導にあたっては、自分にあつためあてをもち、自分と友達のよさを生かしながら、思いや願いをかなえていく運動の楽しさを味わわせたい。

子どもは事前アンケートから「泳法をたっぶり練習したい」「友達と教え合いたい」「クロールの息つきができるようになりたい」や「25mを速く泳げるようになる」、「距離を伸ばしたい」など、一人一人が思いや願いをもっている。このような、子どもの水泳学習に対する思いや願いを生かすことができるように、自分の泳力を確かめた後、今年の水泳学習の目標をもち、それを達成するための活動計画を立てさせていく。そして、目標達成をするために、毎時間目標に近づくためのめあてを決め、課題解決に向けての練習方法を工夫させていきたい。

次に、子どもが自分のめあてに向かって学習を進めていくことができるような場を設定していく。今年度の水泳学習に対して、「クロール・平泳ぎで25m泳げるようになりたい」という技能面での願いをもっている子どもが多いことから、泳法習得の場での活動を充実させていく。子どもの様子を見ながら手を取っての補助や技術的なポイントの声かけをしていくようにする。上手になったところを認め合っていきながら活動を進めていきたい。また、段階ごとの練習方法を具体的に提示するポイントカードをプールサイドに準備し、活用させていきたい。距離の場では、ドーナツ型の周回コースをつくり長い距離に挑戦できるようにする。タイムの場では毎時間、2回だけ記録測定を行い、その間には、記録を伸ばすための練習を行わせていく。各場では、ペア同士や同じめあてをもつ子ども同士で、泳ぎを見合ったり、練習の仕方を工夫させていったりすることで、活動を充実させたい。また、状況に合わせて、他の場の子どもと教え合いもさせていく。めあて3においては、一人一人の思いや願いを大切にしたい。自分や友達の高まり、技能向上を確かめる場として、自分たちで自主運営させていく。

学習ノートでは、毎時ごとにめあて、課題、練習方法を具体的に書かせ、課題解決や技能の向上を図り、十分な練習時間の確保ができるようにする。そして、授業終了後には毎時の活動の振り返りを書かせることで、次時への意欲をもたせるとともに、個に応じた支援に生かしていきたい。

4 学習のねらいとみちすじ

(1) 学習のねらい

自分の目標を達成するための学習計画を立てさせ、それに応じた場の選択や練習方法を工夫させながら、自己の記録に挑戦したり、泳ぎ方を身に付けたり、競争したりすることで水泳の楽しさを感じさせる。

(2) 学習のみちすじ

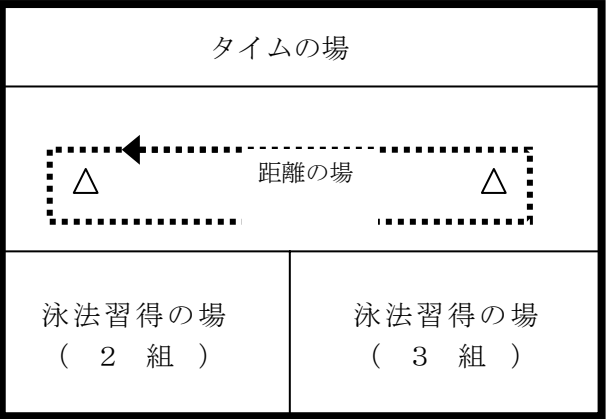
めあて1 自分の泳力（泳法・タイム・距離）を確かめる。

めあて2 新しい泳法や距離・タイムなどに挑戦して水泳を楽しむ。

めあて3 今までの学習を生かして、プール納会を企画・実行しよう。

5 学習の計画

(2 学 期)

	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9
	めあて1 自分の泳力（泳法・タイム・距離）を確かめよう。			めあて2 新しい泳法や距離，タイムなどに挑戦して，水泳を楽しもう。			めあて3 今までの学習を生かして，プール納会を企画・実行しよう。		
	(教室にて) 1 学習の見通しをもつ。 ・単元全体の流れを知る。 ・1時間の流れをつかむ。 ・学習の進め方を知る。 ・ペア学習 ・場づくり，マナーの確認 (プールにて) 学習の準備 準備運動，シャワー，用具の準備			(教室にて) 今日のめあて，活動の場，練習方法，ペアの確認 1 学習の準備をする。 ・準備運動とシャワー ・場づくり ・用具の準備 2 水慣れをする（場ごとに） 3 自分で決めた活動の場で，友達と教え合って練習したり，記録に挑戦したりする。 【予想される場】場は子ども達の実態に応じて変わる。			1 学習の準備をする。 ・準備運動とシャワー 2 水慣れをする。 3 活動をする。 会の進め方は，話し合っ て自主運営する。		
5	2 水慣れをする（場ごとに）。						《 予想される活動 》 ・ 記 録 会 ・ リレー大会 ・ プール納会		
10	3 自分の今の泳力を知る。								
40	4 学習のまとめと後片付けをする。 ・今日の振り返り ・安全に気をつけて後片付けをする。 ・整理運動，目洗い，シャワー (教室にて) 学習ノートを記入し，次時のめあて，活動の場，練習方法を定める。			4 学習のまとめと後片付けをする。 ・ 場ごとに自分の今日の振り返りをする。 （距離・タイムの伸び，「〇〇ができるようになったよ」，今日のめあてについてなど） ・ 場や用具の後片付け ・ 整理運動，目洗い，シャワー (教室にて) 学習ノートを記入し，次時のめあて，活動の場，練習方法を定める。					

6 本時

平成18年6月 プール

7 本時のねらい

自分の目標を達成するため、それぞれの場で友達と教え合ったり、ポイントカードを利用したりしながら練習し、泳法の習得やタイム、距離に挑戦して水泳を楽しませる。

8 本時指導にあたって

子どもは、今年度の水泳学習の目標を達成するための計画を立て、それぞれの場に分かれ学習を進めている。ペアと教え合ったり、ポイントカードを活用したりしながら意欲的に学習に取り組む姿が見られるようになってきている。しかし、友達を見る時のポイントがわからず、どう助言していいかわからない子どもや課題設定がうまくいかない子どももいた。

そこで本時では、次のような支援を行っていく。①子どもの課題に合ったポイントカードを提示し、友達の泳ぎのどこを見てあげる方がいいのかアドバイスをし、友達に伝えることができるようにしていく。②子どもの学習ノートを事前にチェックし、課題解決がスムーズにいく課題設定の方法をポイントカードをかつようしながらアドバイスする。泳ぎが上手になった子どもがいれば、その子どもの伸びを賞賛するとともに、他の子どもの挑戦する気持ちを高めていきたい。また、距離・タイムの場では、記録を計り、それを伸ばすための練習方法を考えさせ、用具やポイントカードを使った支援も行っていきたい。

9 準備

ストップウォッチ、用具（ビート板、足ひれ、パドル、ヘルパー、スタンド、コースロープ）
ポイントカード・チェックカード・学習ノート

10 展開

	学習活動と内容	支 援						
0 5 10	<p>1 学習の準備をする(場ごとに)。 ・準備運動とシャワー ・場づくり ・用具の準備</p> <p>2 水慣れをする(場ごとに)。</p> <p>3 自分で決めた活動の場で、友達と教え合って練習したり、記録に挑戦したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて2 新しい泳法や距離、タイムなど挑戦したい目標を決めて水泳を楽しもう。</p> </div> <p>【活動の場】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">タイムの場</td> </tr> <tr> <td colspan="2">距離の場</td> </tr> <tr> <td>泳法の場 (各クラス)</td> <td>泳法の場 (各クラス)</td> </tr> </table> <p>【予想される活動】</p> <p>距離の場・・・ 自分の目標に向かって泳ぐ。</p> <p>タイムの場・・・ 友達と競争、自分の設定タイムに向けて泳ぐ 記録を伸ばすための練習</p> <p>平泳ぎ・・・ プールサイドで足の動きの練習(ペアに見てもらって)、手かきの練習</p> <p>クロールの場・・・ ビート板でキック練習、けのび練習、手かきの練習</p> <p>・ 活動の場ごとに、今日の記録をとる。</p>	タイムの場		距離の場		泳法の場 (各クラス)	泳法の場 (各クラス)	<p>○ 今日のめあて、活動の場、練習方法、ペアの確認をする(教室にて)。</p> <p>○ けがや事故を防ぐ安全確認をし、準備運動をさせ、シャワーを浴びさせる。</p> <p>○ スムーズに慣れの運動に入れるように声をかけていく。</p> <p>○ ペアの安全確認をすること、コース内では右側を泳ぐこと(タイム、距離の場)を適宜指導する。</p> <p>○ 友達の泳ぎのどこを見てあげればいいのかをアドバイスする。</p> <p>○ なかなか技能が伸びない子どもには、上手な子どもの泳ぎを見たり、上手な子どもから教えてもらったりさせていく。</p> <p>○ 子どもの伸びを賞賛していく。</p> <p>○ めあて達成のために、必要に応じて泳ぎのポイントのアドバイスをしたり、ポイントカードを活用したりするように助言していく。</p> <p>○ 教え合いができていた場合には、その姿を賞賛する。</p>
タイムの場								
距離の場								
泳法の場 (各クラス)	泳法の場 (各クラス)							
40	<p>4 学習のまとめと後片付け(場ごとに)。 ・ 場ごとに今日の学習を振り返る。 (距離・タイムの伸び、「〇〇ができたよ」、今日のめあてについて、など)</p>	<p>○ がんばったことやできるようになったことなどを出し合って、次時の学習への意欲付けをする。</p> <p>○ 子どもの体調を観察し、目洗いとシャワーを浴びさせる。</p>						



水泳学習ノート

6年 組 名前: _____

○ 初めの記録

ク ロ ー ル	平 泳 ぎ

1 今年の水泳学習の目標

第1目標	第2目標

2 目標を達成するための学習計画を立てよう。

時	1	2	3	4	5	6	7	8・9
活動内容								

3 今日の振り返り

時数	めあて	場	練習方法	楽しさ調査		学習を振り返って
					1~5	
1				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
2				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
3				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
4				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
5				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
6				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
7				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		
8				たくさん運動ができた		
				めあてを意識できた		
				コツをつかんだり発見した		
				友達と教え合って運動できた		
				上達した感じがしたか		

○ 最後の記録

ク ロ ー ル	平 泳 ぎ